

第3回 アクティビティ・ケア 実践フォーラム



認知症のお年寄りの
アクティビティ・ケア

【日程】2013年3月9日(土)・10日(日)

《1日目》13:00~17:10 (受付開始12:30)

《交流会》17:30~19:30

《2日目》10:00~16:00 (受付開始 9:30)

【会場】立教大学・池袋キャンパス (東京都豊島区池袋)

【定員】250名

【参加費】《会員》2日間:4,000円 1日のみ:3,000円
※日本福祉文化学会会員、高齢者アクティビティ開発センター会員

《一般》2日間:6,000円 1日のみ:4,000円

《学生》2日間:3,000円 1日のみ:2,000円

《交流会参加費》3,500円

【会場案内】
立教大学
池袋キャンパス
《1日目》7号館1階
《交流会》第一食堂2階
《2日目》5号館1~3階
〒171-8501
東京都豊島区西池袋3-34-1
JR各線・東武東上線・西武池袋線・
東京メトロ丸ノ内線/有楽町線/
副都心線「池袋駅」下車。
西口より徒歩約7分。



©立教大学



お問い合わせ・お申し込み: **高齢者アクティビティ開発センター**

〒165-0026 東京都中野区新井2-12-10 芸術教育研究所内 (金・日曜日、祝日以外の10:00~17:30)

TEL 03-3387-5461 FAX 03-3228-0699 URL <http://www.aptycare.com/> E-mail aptc@aptycare.com

第3回アクティビティ・ケア実践フォーラムの開催に向けて

この「アクティビティ・ケア実践フォーラム」は、日本福祉文化学会と高齢者アクティビティ開発センターが共同で開催し、福祉文化の研究者と、介護や医療の現場の実践者という両方の立場から、高齢者や障がい者への生活から活動まで多岐にわたるケアの実践法と今後の方向性について共に考え合うことを目的としています。

昨年、日本の高齢者人口が3000万人を突破し、そのうちの10人に1人は認知症だと発表されました。また認知症予備軍が200万人いるとも言われており、認知症の予防や症状の進行を遅らせるために、心の栄養素となるアクティビティ・ケアが今後ますます重要となるでしょう。1日目の特別講演では、NHKの「プロフェッショナル」でも取り上げられた認知症ケアのプロ、和田行男氏にご講演いただきます。みなさんふるってご参加ください。

日本福祉文化学会 会長 河東田 博

高齢者アクティビティ開発センター 代表 多田 千尋

【1日目】 3月9日(土) 7号館 1階・7101教室

13:00 **あいさつ**

馬場 清 (高齢者アクティビティ開発センター 主任研究員/法政大学 講師)

13:10 **基調講演 「人間らしく生きるための『遊び』の重要性」**

お年寄りの「楽しいと感じる気持ち」を引き出すための取り組み

島田治子 (日本福祉文化学会 副会長/目白大学 社会学部メディア表現学科 教授)

13:50 **特別講演 「認知症と向き合い、介護の概念を覆す」**

認知症になっても「その人らしい暮らし」を維持するための支援



和田行男 (大起エンゼルヘルプ クオリティーマネージャー)

高知県生まれの介護福祉士。1987年、国鉄から福祉の世界へ大転身。特別養護老人ホームなどを経験したのち、東京都で初めてとなる「グループホームこもれび」の施設長を務め、現在は大起エンゼルヘルプでグループホーム・デイサービス・小規模多機能ホームなどを統括。2012年NHK「プロフェッショナル〜仕事の流儀」に出演。【主な著書】『大逆転の痴呆ケア』『認知症になる僕たちへ』『認知症開花支援』(中央法規出版)



14:50 **実践報告 「アクティビティ・ケア活動実践報告」**

高齢者施設の内装木質化の効果と意義

〈発表者〉 安梅勅江 (筑波大学 医学医療系 教授)

鈴木律子 (アクティビティディレクター/ケアセンターオアシス入江施設長)



林野庁の委託を受け昨年度行った高齢者施設の木質内装化による効果の研究調査の結果を、施設側と研究者それぞれにご報告いただきます。

他地域との交流を通じた福祉活動

〈発表者〉 藤原一秀 (障害者就労支援センター オリンピア岩屋センター長)



神戸市の就労支援施設が、丹波市で地域活動をする方々と連携して展開する、農耕や木工文化の実践を通じた、都市と地方を循環する活動についてご報告いただきます。

アクティビティ・トイの実践と効果

〈発表者〉 磯 忍 (高齢者アクティビティ開発センター)



高齢者アクティビティ開発センターが研究してきた、アクティビティ・トイを用いたケアから見えてきた要介護のお年寄りの変化を、データも用いながらお話しします。

認知症理解のための演劇活動

〈発表者〉 劇団いくり (認知症ケア研究所)



認知症についての知識と理解を広めることを目的に、現役の介護職員によって構成された劇団いくり。認知症の方の真の姿を、面白おかしく、時には切なく演じます。

〈指定討論者〉 杉啓子 (江東園TQM本部長・ケアセンターつばき 事業部長)
多田千尋 (高齢者アクティビティ開発センター 代表)

17:30 **交流会** 全国から集まる研究者と実践家と一緒に話し、職種を超えた情報交換をしましょう。

〈会場〉 立教大学・第一食堂2階 〈参加費〉 3,500円 〈定員〉 60名

10：00 分科会「**アクティビティ・ケア見本市**」

オリジナリティあふれるアクティビティの実践講座やワンテーマセッションを、分科会形式で行います。第1部、第2部それぞれ8つの分科会から参加したいものを選び、申込書に第2希望までご記入ください。申込み先着順にてご参加いただく分科会を決定し、参加票にてお知らせします。



10：00～11：10 第1部

- ① **嚥下の基礎知識とトロミ介護食の正しい活用法**
 〈講師〉 福田浩人 (ヘルシーフード株式会社)
 〈助言者〉 正岡慧子 (薬膳研究者)
- ② **いつまでも美しく！その人らしい生き方を支える美容福祉**
 〈講師〉 佐野美恵子 (アクティビティ ディレクター／美容福祉社)
 〈助言者〉 木村たき子 (日本子ども家庭総合研究所 嘱託研究員)
 宮崎牧子 (大正大学 人間学部 アーバン福祉学科 教授)
- ③ **集団でも個別でも楽しめる福祉プレイワーク実践**
 〈講師〉 高橋紀子 (ルナ・イ・ソル代表／高崎健康福祉大学 講師)
 〈助言者〉 河東田博 (日本福祉文化学会会長／立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科 教授)
 澤内 隆 (文教大学 国際学部 講師)
- ④ **リハビリ専門職と学ぶ！アクティビティの目的と効果**
 〈講師〉 桂 裕二 (アクティビティ ディレクター／老健たいよう 作業療法士)
 〈助言者〉 馬場 清 (高齢者アクティビティ開発センター／法政大学 講師)
- ⑤ **色彩を楽しみ五感を活性化させる和紙のちぎり絵**
 〈講師〉 中野正江 (アクティビティ ディレクター／自遊スペースゆうゆう 主宰)
 〈助言者〉 マーレー寛子 (デイサービスセンターむべの里 施設長)
- ⑥ **対象者に合わせた音楽アクティビティの組み立て方**
 〈講師〉 池之谷敏江 (アクティビティ ディレクター／りふあれ音楽研究所 主宰)
 藤田啓子 (アクティビティ ディレクター／ボランティア)
 〈助言者〉 藺田碩哉 (NPO法人さんさんくらぶ 理事長)
- ⑦ **施設を彩る簡単壁面飾りのアイデアと実践**
 〈講師〉 菊池貴美江 (芸術教育研究所 主任研究員)
 〈助言者〉 永山 誠 (昭和女子大学 大学院 特任教授)
 磯部幸子 (日本福祉文化学会 事務局長)
- ⑧ **対象者の体力に合わせて身体を動かす楽しい踊体操**
 〈講師〉 鈴木 允 (アクティビティ ディレクター／村上市生きがい通所サービス)
 〈助言者〉 師岡文男 (上智大学 文学部 教授)

11：30～12：40 第2部

- ⑨ **人にやさしい器「てまる」から考える介護の食器**
 〈講師〉 大沢和義 (人をむすぶ器たち「てまる」代表)
 〈助言者〉 正岡慧子 (薬膳研究者)
- ⑩ **心と身体に寄りそう森の香り～国産アロマの使い方**
 〈講師〉 小平有紀 (アロマセラピスト／ナチュラルセラピーインテグレート 代表)
 〈助言者〉 宮崎牧子 (大正大学 人間学部 アーバン福祉学科 教授)
- ⑪ **日本の伝統を伝え、交流を促すふろしき活用術**
 〈講師〉 小菅嘉子 (アクティビティ ディレクター／ボランティアコーディネーター)
 〈助言者〉 藺田碩哉 (NPO法人さんさんくらぶ 理事長)
 磯部幸子 (日本福祉文化学会 事務局長)
- ⑫ **元気で長生き！「笑い」の効用を再発見**
 〈講師〉 島田治子 (自白大学 社会学部メディア表現学科 教授)
 〈助言者〉 澤内 隆 (文教大学 国際学部 講師)
- ⑬ **リハビリ遊びに役立つ！手作り伝承玩具**
 〈講師〉 斎藤照正 (アクティビティ ディレクター／伝承おもちゃの伝達者)
 〈助言者〉 馬場 清 (高齢者アクティビティ開発センター／法政大学 講師)
- ⑭ **対象者をいきいきと笑顔にする音楽アクティビティ**
 〈講師〉 有田昌代 (アクティビティ ディレクター／音楽療法士)
 〈助言者〉 杉啓以子 (江東園 ケアセンターつばき 事業部長)
 永山 誠 (昭和女子大学 大学院 特任教授)
- ⑮ **地域と世代間の心をつなぐわらべうたあそび**
 〈講師〉 田村洋子 (アクティビティ ディレクター／NPO法人日本わらべうた協会 理事長)
 〈助言者〉 河東田博 (日本福祉文化学会会長／立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科 教授)
 師岡文男 (上智大学 文学部 教授)
- ⑯ **介護は演劇！朗読落語と手作り人形劇場**
 〈講師〉 林 初枝 (アクティビティ ディレクター／介護士)
 〈助言者〉 木村たき子 (日本子ども家庭総合研究所 嘱託研究員)

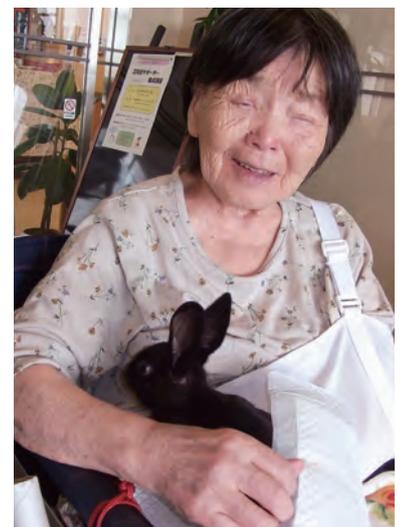
12：40 昼食休憩 (ご持参された昼食は会場でお召し上がりいただけます)

14：00 全体会 パネルディスカッション

「**認知症のお年寄りのアクティビティ・ケア**」

介護の現場でお年寄りと向き合ってきたパネリストの方々から、認知症のお年寄りがその人らしい生活を送るための創意工夫にあふれたケアの実例をうかがい、認知症のアクティビティ・ケアの重要性とこれからの支援を考えます。

- 〈パネリスト〉 マーレー寛子 (デイサービスセンターむべの里 施設長)
 高橋紀子 (ルナ・イ・ソル代表／高崎健康福祉大学 講師)
 桂 裕二 (アクティビティ ディレクター／老健たいよう 作業療法士)
- 〈コーディネーター〉 多田千尋 (高齢者アクティビティ開発センター 代表)



15：50 閉会あいさつ

河東田博 (日本福祉文化学会会長／立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科 教授)

アクティビティ・ケアグッズ展示 (2日目のみ)

■人をむすぶ器「てまる」

使い勝手を考えた福祉食器でありながら、機能性だけにとらわれず、より幸福に、より楽しく食事をするために、一個の器として美しく上質な日常品であることを基本概念として開発された食器「てまる」。

グッドデザイン賞にも選ばれた「てまる」の器が、今年も岩手からやってきます。



■日本の森から生まれたアロマ「yuica (ゆいか)」

飛騨高山の森で育った樹木から作られた、日本産アロマ「yuica」。森の香りは人の免疫や自律神経、内分泌を整えることが証明されていますが、「yuica」は日本人が一番受け入れやすい、日本の様々な樹木からアロマを抽出し、製品として提供されています。

この機会に高齢者にもなじみ深い「和のアロマ」をお試し下さい。



画像提供：世界文化社

■福祉文化関連書籍展示

日本福祉文化学会では、地域社会づくりやQOLの向上を目指した福祉文化に関連する書籍を出版しています。

また、高齢者アクティビティ開発センターでは、レクリエーションや手工芸など、介護の現場で役立つ実践書を多数発行しています。

会場にてアクティビティ・ケア関連書籍をご覧いただけます。



■高齢者遊具100選

リハビリや介護予防にもつながり、コミュニケーションにも最適な、大人が遊んで楽しいおもちゃをアクティビティ・Toyと呼んでいます。高齢者アクティビティ開発センターではお年寄りの生活を豊かにするアクティビティ・Toyを「高齢者遊具100選」として選定。会場ではこれらを実際に手に取ってお試しください。



お申し込み方法

申込書の記入

下記申込書に必要事項をご記入ください。

申込書の送付・送金

ご入金は「現金書留」または「郵便振替」をお願いします。

現金書留 現金書留封筒に参加費と申込書を同封し、郵便局の窓口から送る

郵便振替 郵便局備え付けの青色の払込取扱票に必要事項を記入して参加費を送金し、申込書をFAXまたは郵送する

〈申し込み先〉 高齢者アクティビティ開発センター
〒165-0026 中野区新井2-12-10 芸術教育研究所内
TEL 03-3387-5461 FAX 03-3228-0699

〈郵便振替〉 番号：00110-8-82521 加入者名：芸術教育研究所
通信欄：アクティビティ・ケア実践フォーラム参加

■注意事項

*ご入金にあたっての手数料等はご負担ください。

*納入された参加費は、理由を問わず払い戻しはいたしません。ご了承ください。

*ご記入いただいた個人情報は第三者に提供いたしません。

お申込手続き完了

申込書と入金の確認が、事務局でできた時点で参加確定となります。

参加票の到着

2月20日以降に参加票をお送りしますので、内容をご確認の後、当日お持ちください。

第3回 アクティビティ・ケア実践フォーラム 参加申込書

(ふりがな) 氏名		勤務先・学校名	
職種(該当に○) 1.介護職員 2.介護福祉士 3.ケアマネジャー 4.作業療法士 5.理学療法士 6.看護師 7.生活相談員・生活支援員 8.ホームヘルパー 9.施設長・施設責任者 10.ボランティア 11.その他 ()		業種(該当に○) 1.特別養護老人ホーム 2.有料老人ホーム 3.介護老人保健施設 4.グループホーム 5.在宅介護 6.デイサービスセンター 7.デイケアセンター 8.病院 9.障がい者施設 10.その他 ()	
ご連絡先(該当に○) 自宅 ・ 勤務先		電話番号	E-mail
ご連絡先住所 〒		都	道府県
該当に○	参加区分	日本福祉文化学会会員 ・ 高齢者アクティビティ開発センター会員 ・ 一般 ・ 学生	
	参加する日	2日間通して参加 ・ 1日目(3月9日)のみ参加 ・ 2日目(3月10日)のみ参加	
	交流会(1日目)	参加 ・ 不参加	参加費合計 <input type="text"/> 円
2日目に参加される方は分科会の参加希望番号に○をつけてください		第1部 第1希望(①・②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧) 第2希望(①・②・③・④・⑤・⑥・⑦・⑧) 第2部 第1希望(⑪・⑫・⑬・⑭・⑮・⑯・⑰・⑱) 第2希望(⑪・⑫・⑬・⑭・⑮・⑯・⑰・⑱)	

※分科会の参加希望欄に○がない場合は、事務局で決めさせていただきます

申込書はコピーして、お1人1枚ご記入ください